

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタイル] 名古屋 特別版

2021 03

『Biz Life Style』は東京、関西、仙台、福岡
にて49万部発行
下記URLまでアクセスを。
www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは

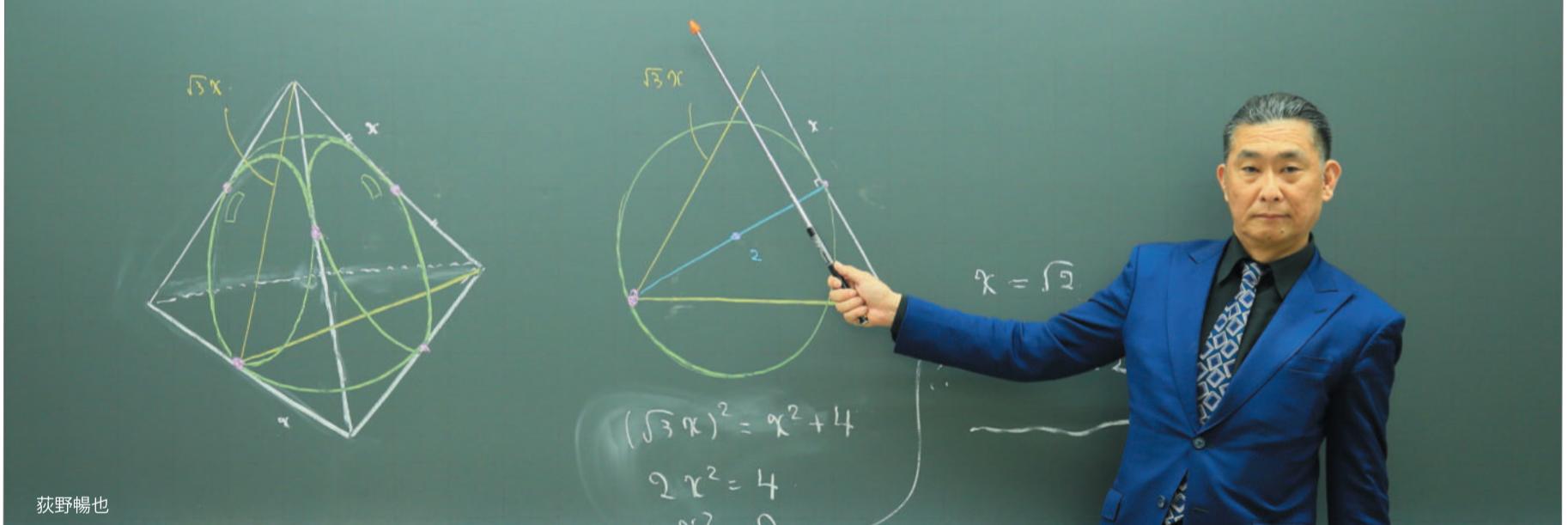
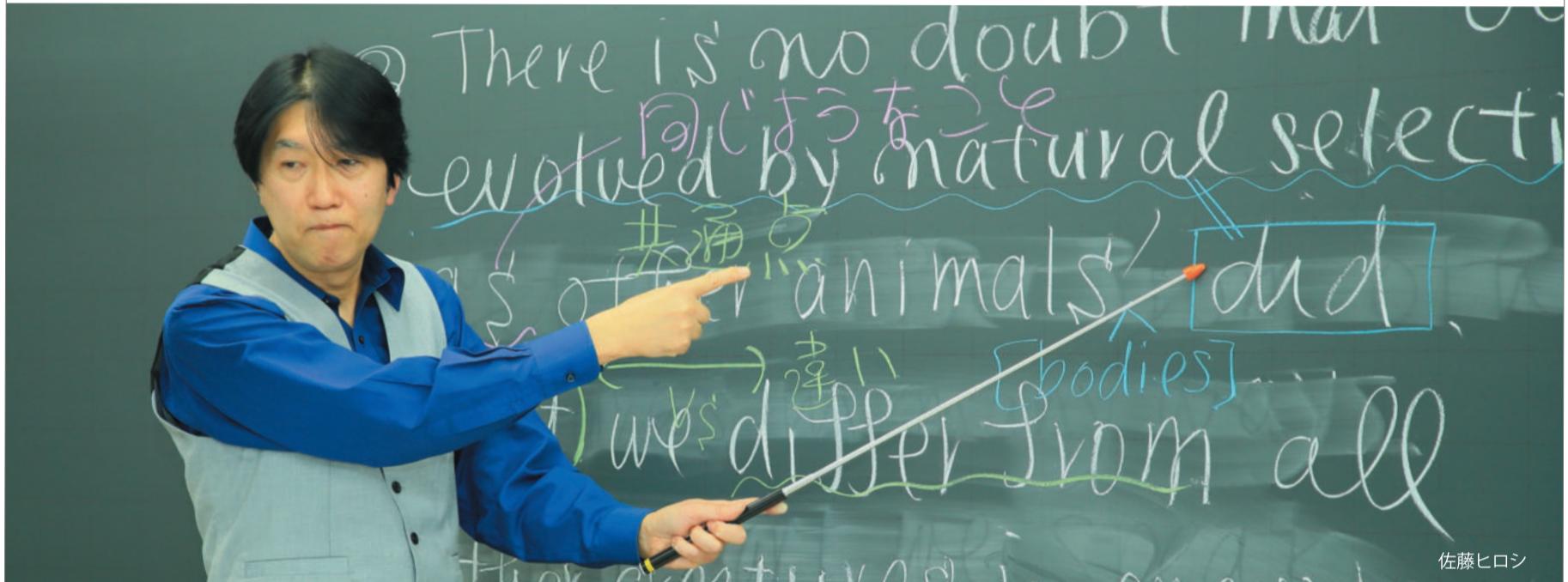
TEL.052-219-7011 FAX.052-219-7041

www.dac-group.co.jp/

企画・制作/株式会社ディリー・インフォメーション中部

〒460-0003 名古屋市中区錦1-20-12 伏見ビル6F

© 2021 DAILY INFORMATION CHUBU CO.,LTD



NEXT

大手予備校トップ講師の仕事とその素顔

My Favorite Life Style



20代で東大クラスを任せられた、伝説の数学講師

数学講師になったきっかけを教えてください。

浪人時代に代ゼミに通っていたのですが、難問を解くのを見て、これは凄いなと。生徒が数百人もいる時代でしたから講師はスターのような存在で、僕だったらこう教えるなど、そんなことを考えながら授業を受けていましたね。当時から代ゼミの講師に憧れていたのですが、いきなりは無理だろうと高校の先生になり、それから代ゼミ講師の採用試験を受けました。

講師としての流儀やモットーを教えてください。

昔は大教室で演説するような感じで授業をやっていたのですが、最近は一人ひとりに、わかりやすく親切に、という感じでやっていますね。少人数制だからというのもありますが、僕自身が親になったことも大きな変化の理由だと思います。僕の子どもも塾に通っているんですが、我が子に声をかけてくれたり、気にかけてくれたりすると、親として信頼できますし、今はそれが一番大事だなと思いますね。



印象に残っているエピソードを教えてください。

初めて任せてもらった東大クラスに目の不自由な子がいたのですが、そのクラスで東大の空間图形の問題(1982 理科Ⅱ)をプリントで配ってやらせたことがあったんです。その子には申し訳ないと思いつつ、誰も解けないので図をかいて説明したんですが、その子のノートを見たらすでに正解が書いてあったんです。理解するのは難しいだろうと勝手に決めつけてしまっていたのですが、こちらの想像を超えて彼は優秀でした。教師よりも優れた生徒がいること、生徒の可能性を感じること、そんな教育者として当たり前の事にそこで気づかせてもらいました。

執筆図書

荻野の勇者を育てる数学Ⅲ(代々木ライブラリー)
荻野の天空への理系数学(代々木ライブラリー)
最高難度の理系数学—選ばれし者たちへ(代々木ライブラリー)

生徒への情熱とカープ愛で真っ赤に燃える、スゴ腕講師

国語講師になったきっかけを教えてください。

高校時代に受けた代ゼミの授業がきっかけです。「どうしたらもっと分かりやすくなるだろうか」……「よし、自分がやってやろう、自分ならできるはずだ!」と、こんな感じです。学生時代に代ゼミでアルバイトをはじめて、大学卒業と一緒にそのまま代ゼミ講師になりました。



講師としての流儀やモットーを教えてください。

「分かりやすい・楽しい」だけの授業なら誰でもできます。僕の教室も笑いが絶えることはありませんが、学力が伸びなきゃ意味がないですからね。また、時間をかけて勉強すれば学力が伸びるのは当たり前。受験生は忙しいですから、負担軽減・実力向上の双方を兼ね備えてこそ「最強のカリスマ」。「短時間で力をつける」が僕のモットーです。



塗原慎太郎(国語)

岩手県出身。東京大学卒。史上最年少(22歳)で代ゼミの教壇に立ち、「東大合格者続出のスゴ腕予備校講師」として雑誌等で紹介。熱狂的な広島カープファンでドラゴンズは2推し。名古屋校のゆるキャラ「クレナイヨバトン」でもある。

印象に残っているエピソードを教えてください。

僕の参考書を見て受けに来てくれた生徒から、教室に入るなり「詐欺だ!」と叫ばれたこと。たしかに参考書の写真とはギャップが、毎年1kgずつ増えてるので(ごめんね)。あとは、「先生のおかげで古文満点でした!」「おお!で、結果は?」「他の教科があまり取れなくて…」こんな苦い経験から「短時間で力をつける」決意を新たにしました。

カリスマ講師の体験授業イベント

代ゼミセミナー名古屋校では体験授業イベント(詳細は次ページ参照)の実施を予定しているが、今回紹介した3名のカリスマ講師もこの体験授業イベントに登壇するそうだ。体験授業は参加無料で当日の参加も可能。ぜひこの機会にカリスマ講師の授業を受けてみてはいかがだろう。

佐藤ヒロシ	3/6(土) 13:00~14:30【英語】
荻野暢也	3/21(日) 13:00~14:30【理系数学】
塗原慎太郎	3/13(土) 15:30~17:00【国語】



代ゼミが誇る、カリスマ講師による“親身の指導”

— インタビューを終えて —

「カリスマトップ講師」ということで、話を伺う前は正直、身構えてしまっていたが、実際に話してみた感じたのは、お三方とも驚くほど物腰が柔らかく謙虚だということだ。一方で、授業のあり方など、受験指導に関する話になると眼力が増し、言葉に力がこもった。はっきりと譲れないものがそこにあることが肌感覚で分かった。講師の魅力はその振り幅の大きさにあるのかもしれない。

そして、「仕事」という面では、他に類を見ないほど洗練された授業の裏側で入試問題分析、教材研究、という地道な努力を惜しまない真摯な姿があった。なぜ受験生たちはこの先生たちの授業に感動をした、何十年経っても振り返ったときに當時を熱っぽく語れるほど心をつかまれるのか分かつたような気がした。

講師にしてみたら毎年受験生を相手にしているわけだが、生徒にとって人生を左右する一生に一回の出来事だ。その思いに毎年立ち向かい、もっと言えば、毎授業、毎授業、生徒を圧倒する授業をし続けるのは並大抵のことではない。それを可能とするのは、毎回の授業を一期一会の真剣勝負として臨めるからこそだ。その熱量を持ち続けられることが、語られるほど心をつかまれるのか分かつたような気がした。

講師にしてみたら毎年受験生を相手にしているわけだが、生徒にとって人生を左右する一生に一回の出来事だ。その思いに毎年立ち向かい、もっと言えば、毎授業、毎授業、生徒を圧倒する授業をし続けるのは並大抵のことではない。それを可能とするのは、毎回の授業を一期一会の真剣勝負として臨めるからこそだ。その熱量を持ち続けられることは、語られるほど心をつかまれるのか分かつたような気がした。

予備校講師と聞いて我々がイメージするのは、派手な身なりとタレント顔負けのパフォーマンスで生徒を魅了する姿だ。しかし、それだけではなく、年、生徒の合格実績という形で結果が出たため、実力が伴わなければそこまで明らかになる。予備校講師の世界は分かりやすいけれど、そこには逆に生徒からの支持がなくなれば翌年の契約更新はない。そんな苛烈な生存競争を勝ち抜いてきた講師には、どこか威風堂々としたオーラのようなものがある。今回は代ゼミセミナー名古屋校にお邪魔をして、今もトップを走り続けている三人の講師に話を伺い、予備校講師としての原点や仕事への考え方、あるいはその素顔に迫ってみた。



佐藤ヒロシ(英語)

神奈川県藤沢市出身。早稲田大学を卒業後、1990年から代ゼミ講師として英語を担当している講師歴30年超の大ベテラン。娘の大学受験を機に7年前から数学にはまり、自宅の本棚には英語よりも数学の本が多く並んでいる。

執筆図書

東大英語が教えてくれる英文正読の真相55(ブレイズ)
実は知らない英文原読の真相88(ブレイズ)
実は知らない英文法の真相75(ブレイズ)
佐藤ヒロシの英語長文【マーク式】が面白いほどとけるスペシャルレクチャー(KADOKAWA中経出版)
佐藤ヒロシの英語長文【記述式】が面白いほどとけるスペシャルレクチャー(KADOKAWA中経出版)

テクニックには走らない、正攻法で勝負する大ベテラン

英語講師になったきっかけを教えてください。

もともと英語は得意じゃなかったんですけど、代ゼミでの浪人時代に潮田五郎先生(当時の代ゼミを代表するカリスマ英語講師)の授業を受けて、英語に目覚めたのが英語講師の道に進むことになったきっかけですね。大学卒業後すぐに代ゼミの講師になったんですが、当時は高校・大学の教員から講師になるのが一般的な時代で20代での講師デビューは異例中の異例でしたね。

講師としての流儀やモットーを教えてください。

教えるのはあくまでも正攻法で、解くためのテクニックはやりません。予備校ですから、もちろん合格が第一なんだけれど、解ければおしまいではなく、学ぶ面白さをわかって欲しいんですね。英語に限らずすべての教科に繋がることですし、正攻法で意欲ある学生に育てたいと思っています。また、私は授業中に雑談とかしませんので、生徒からは厳しい先生と思われているんじゃないでしょうか。



印象に残っているエピソードを教えてください。

もう30年以上講師をやっていますので、昔の教え子も30~40代のいい大人になっているんですよ。なかには英語の先生になった生徒も何人かいんですが、私の元教え子から英語を教わっていたという子が代ゼミに来たときは驚きましたし、嬉しかったですね。また、授業中まったく笑わず、つまらなそうにしていた生徒から、「先生の授業が一番好きでした」と言われたのは印象に残っていますね。

My Favorite Life Style

代ゼミの強みを結集し、 新しい名大コースが誕生

代々木ゼミナールの名古屋校は、全国の代ゼミの中でも一番コンパクトなサイズの校舎だ。大手予備校の校舎としてこの規模の校舎はなかなかない。そのことが生み出す生徒へのメリットは大きい。当然、目が行き届くので、生徒一人ひとりにかける手間ひまが違ってくる。

一般的な大規模校舎の予備校は、その規模ゆえに抱えるジレンマとして、生徒一人ひとりとの関わり合いがどうしても希薄になりがちだ。例えば、生徒が授業で分からなかつたところを休み時間に質問に行つても既に行列ができたりすることが多い。そうなると質問も短時間で切り上げないと回らなくなる。

しかし、代々木ゼミナール名古屋校は、校舎規模の制約もあり、一クラス当たりの人数が比較的少數だ。そのため、質問に行つてもたっぷり時間をかけて指導してもらえる。だからこそ、疑問点を残さず次の授業に臨めるのだろう。これは受験生にとってありがたい。さらに、自分一人だとなかなか勉強しづらい記述式問題の添削なども休み時間にとことんみてもらえるのは、かなりの大サービスといえる。普通なら個別指導料金がかかるかも、そういう添削指導も含めた直接の指導が全国区のトップ講師から受けられるのが大きい。

このように、代々木ゼミナール名古屋校は、トップ講師からの指導をひとり止めとまではいかないまで



名大志望者向け 体験授業イベント 【参加無料・当日参加OK】

3/13(土)	3/14(日)
13:00~14:30 英語	13:00~14:30 文系数学
15:30~17:00 国語	13:00~14:30 理系数学
15:30~17:00 物理	15:30~17:00 化学

※入学説明会は両日とも14:40~15:20に実施予定

代々木ゼミナールの名古屋校は、全国の代ゼミの中でも、非常に近いほど相当手厚く受けれる感じができる稀有な校舎だ。正直六場と言つていいだろう。こうした代々木ゼミナール名古屋校にしか提供できない、この春リニューアルされた「コースが存在する」。それが、この春リニューアルされる「論述強化名大コース」だ。記述式問題の添削指導の質を担保するために、コースの定員は20名に限定されている。このコースの大きな特徴は、授業の中に論述演習を組み込んだという点にある。一般的な添削指導は、講義とは独立した論述テストの時間に問題を解き、外部に採点を依頼して、採点され赤入れされた答案が返却されるという流れが普通だ。

ところがこの「コースでは、トップ講師が直接、記述式問題のポイントを授業の中で指導する。一般的な演習コースのように「採点結果を見て自分で問題点を読み解くのではなく、書き出すところから『プロセス丸ごと』指導してもらうので実力の付き方が違う。普通はこんな手間のかかることはできない。超お得なコース」といえよう。

代々木ゼミナール名古屋校では受験生や保護者を対象にした入学説明会と体験授業を定期的に開催している。これらのイベントはカリキュラムや学費の詳細情報を確認できるだけでなく、スタッフの人柄や校舎の雰囲気を知ることができる。そしてトップ講師の本物の迫力を生で体験できる絶好の機会でもある。ぜひ説明会と体験授業に参加してみてはいかがだろう。

講師メッセージ～経験豊かなプロ講師による 講義 + 添削指導～



<名大英語>

『名大英語』では、段階的な学力アップを実現するオリジナル教材を使い、徐々に難度を上げながら基本から丁寧に講義します。そして予習で作ってもらった答案を講義の直後に生徒一人ひとりの目の前で添削することで、その時点での弱点をダイレクトに暴き出し、各生徒の個性に合わせて的確なアドバイスを与え、意識的な修正を可能にします。もちろんあらゆる質問に答え、相談にも乗ります。ほぼ個別指導とも言える徹底的なケアを通して英語得意科目にする確実な道筋がここにあります。

妹尾真則講師【英語】



<名大理系数学>

名大理系数学で合格点を取るために必要なものは、基本的な知識や解法を知っている上で、問題に正しくアプローチし正確にたどり着く過程をきちんと論証する力です。授業ではまず、合格に必要なセレクトされた問題を用いて知識や解法の確認をしていきます。次に、演習で実戦力を高めています。またその回答は実際の入試の観点から添削し、生徒一人ひとりに具体的なアドバイスを行います。授業、演習、添削の3つの観点から名大理系数学合格に向けて全力でサポートしていきます。一緒に頑張っていきましょう。



<名大文系数学>

数学はときには、最終結果よりもプロセスの論理性の方が大切です。何をやっているのか解読できない計算メモのような答案をときどき見かけますが、最終結果が正しくても高得点は望めません。自分の思考過程を正しく伝える為には論述の練習が欠かせないので、テスト中の様子を見てリアルタイムに解説に反映し、答案を預かり添削することで個々の問題点を洗い出す二段構えのシステムで、キミを確実にレベルアップさせます！

大山壇講師【文系数学】



<名大国語>

名大現代文は読みやすい。ただし、解きやすいとは限らない。対比論述と理由説明が明暗を分ける。簡明にして必要十分な解答法を示す。他科目の時間を食わぬよう、負担は極限まで削ろう。名大古典は重厚長大。日本最難といつても過言ではない。ゆえに対策の有無で大差がつく。和歌の解釈も漢文の150字も明確な指針を示す。古典を武器に合格を勝ち取ろう。添削は自己分析の助け。答えを書き込むことではない。名大国語を熟知した漆原が、珠玉の朱筆を揮おう。代ゼミは、ええで。

志望校が母校になる。

代々木ゼミナール

名古屋校

〒453-0014 愛知県名古屋市中村区則武1-5-7

0120-54-4305

■パソコン・スマートフォン(<https://www.yozemi.ac.jp>) ■Twitter(@yozemi_nagoya) ■LINE(@yozemi_nagoya)

